

令和 6 年度地域発元気づくり支援金事業 総括書

事業名	山とスキーの人材確保・育成研究事業
事業主体	「白馬・山とスキーの人材確保・育成」研究会
事業区分	(3)教育、文化、スポーツの振興に関する事業 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	955,095円 (うち支援金: 755,000円)

事業内容

【白馬の山とスキーに関わる人材確保・育成研究事業】

山案内人、長野県山岳遭難防止対策協会（遭対協）救助隊員などの山岳関係の人材やスキー場、スキースクールなどのスキー関係の人材が不足し、深刻な状況にある白馬地域において、養成学校の設立も視野にいれた人材確保や育成に向けた新たな仕組みづくりの構築及び実効性のある手法について調査、研究した。主な内容は以下のとおり。

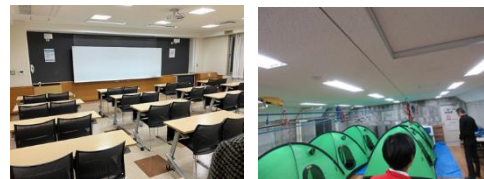
① 検討会、講演会の開催

- 検討会 プロジェクトチームによる検討会 9 回
全体会議 18 回、
- 講演会 テーマ「白馬村の人材育成と学び」
講 師 日本女子体育大学招聘教授
福岡 孝純 氏

② 先進学校（育成施設）の調査

プロフェッショナル人材の育成や専門学校の設立に必要な施設とその運営方法を研究するため、先進的な取組を実践する学校・施設を視察した。
日本アルプス国際学院（北安曇郡池田町）
JWSC 国際スノーボード & スケートボード 専門学校（新潟県）
i-nac 国際自然環境アウトドア専門学校（新潟県）
国立登山研究所（富山県）
専門学校 日本ホテルスクール（東京都）

先進学校・施設視察（11/25、1/30）



【目標・ねらい】

白馬地域における山とスキーに関わる人材の確保・育成に向け、実効性のある仕組みと方策を調査・研究し、今後の地域の取組に寄与する。

- ① 各分野・専門性ごとにプロジェクトチームを設置し、検討会を実施し、全体会でまとめを行う。
また、専門家による講演会を開催し、研鑽を積む。
- ② 先進学校を訪問し、プロフェッショナル人材育成のための実践的なプログラムや育成施設の具体的な運営方法等を調査する。

事業効果

先進学校や施設を実際に視察することにより、人材育成のためのカリキュラムや生徒が取得できるスキル・資格など、施設運営を考える上で大変参考になった。

また、先進学校の協力を得て実施した学校設立・経営シミュレーションの結果を踏まえ、白馬における学校設立に伴う課題（設立準備資金や校舎の確保、他大学等との連携方法等）が具体的に明らかになった。これらの研究成果を事業報告書及び会議資料集としてまとめた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

年間を通した研究から、学校設立については白馬という一地域で考えるには規模が大きいことが見えてきた。

今後の研究会の方向性として、学校設立については、広域性を踏まえて準備をしていくとともに、県に対して観光に携わる人材育成を要望していくこととして、本年度をもって当研究会を閉じることとした。

※自己評価【B】

白馬地域における専門的人材の育成、労働力確保というテーマに挑んだが、養成学校の設立・運営面においてクリアしなければならない課題に対し、本研究会のみで解決を図ることは困難との結論に至った。これまでに研究した成果を今後、より広域的、長期的な取組を実践できる新たな組織に引き継いでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある